

## ■あしがき

令和6年5月25日、初夏の日差しがまぶしい穂高交流学習センター「みらい」の芝生広場で「あづみの里山フェスタ」が開催され、およそ1000人の参加者が集まりました。里山の恵みを実感する27の出展ブースや、サルをテーマにした種々の体験企画に参加して下さった市民の賑わい、そして語らいが途切れることなく続く様子に、私たちは大きな手応えを得ることができました。

この里山フェスタは、じつは第2次安曇野市里山再生計画（さとぶろ。）のスタートに合わせ、2020年4月の開催をめざして周到に準備を進めていたものでした。ところが同年初頭から世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスによって、残念ながら中止・延期を余儀なくされたのです。以後、第2次計画期間中のさとぶろ。の様々な活動は、コロナ禍の影響を見きわめながら始まることとなりましたが、事務局と各プロジェクトの関係者が連携し、活動の中で食事の機会を制限したり、従来は1日だった活動を半日にするなど、長時間「密」になる機会を減らす工夫をいち早く施し、2020年5月末から屋外での活動を再開しました。里山に市民の賑わいが戻るのに時間がかからなかったのは、里山は暮らしにもっとも身近な屋外で、コロナ禍の影響を比較的受けにくかったと言えるのかもしれません。何より、長期間にわたっていわゆる“ステイホーム”を要請される中、多くの市民にとって、里山が癒やしや開放感を与えてくれることを再発見する機会となったのではないのでしょうか。

全国で初めて、“行政計画としての里山再生計画”として発足したさとぶろ。は、平成28年度に11の活動メニューで本格的に立ち上がり、第2次計画期間を終えた令和6年度には活動メニューを26にまで増加させるに至りました。関わる市民や事業者の数や多様性も、ますます充実しています。

一方で、里山に関わる社会課題も年を追うごとに顕在化しているように感じられます。里山は人が自然に働きかけることによって形成された環境ゆえに、人間社会が抱える課題が真っ先に現れる場でもあるのです。市民の手によるこれまでの10年の蓄積を糧に、安曇野市は「安曇野市ニホンザル追い払い隊」の結成や、内閣府の「SDGs未来都市」への選定といった新たな施策を展開するに至りました。これから始まる第3次計画期間を、多彩な市民活動とこうした市の施策が融合することによって、里山とともにある安曇野の暮らしの豊かさを市民一人ひとりが実感できる社会へと結実させる5年間としていきたいと思います。

安曇野市里山再生計画推進協議会 会長 茅野 恒秀

# 参考資料

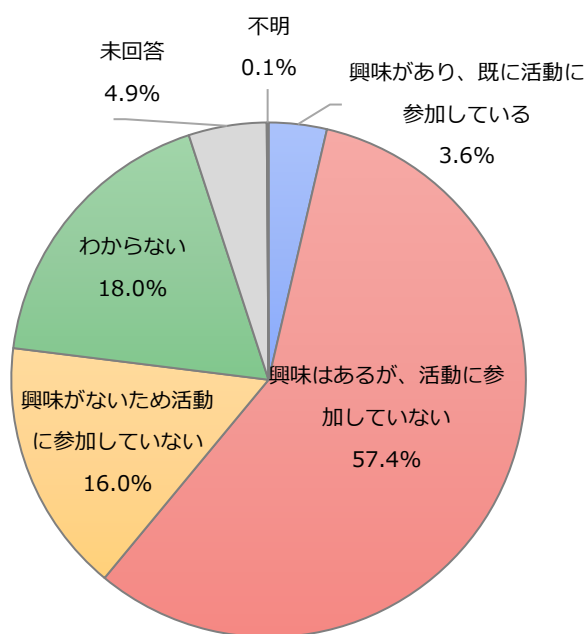
## 1 里山に関するアンケート調査資料

令和5年度に、市政全般に関する市民意識調査を実施しました。その調査結果から、里山再生計画の取組や里山活動への興味などについての事項を抜粋し、以下に示します。

問1 あなたは、里山再生、森林保全といった活動に興味がありますか。

|                   | 全体<br>(n=877) | 18～29歳<br>(n=50) | 30代<br>(n=85) | 40代<br>(n=117) | 50代<br>(n=157) | 60代<br>(n=158) | 70代以上<br>(n=309) | 未回答<br>(n=1) |
|-------------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 興味があり、既に活動に参加している | 3.6%          | 2.0%             | 4.7%          | 2.6%           | 2.5%           | 3.2%           | 4.9%             | 0.0%         |
| 興味はあるが、活動に参加していない | 57.4%         | 48.0%            | 49.4%         | 55.6%          | 59.9%          | 60.1%          | 59.2%            | 0.0%         |
| 興味がないため活動に参加していない | 16.0%         | 28.0%            | 28.2%         | 21.4%          | 15.9%          | 16.5%          | 8.1%             | 100.0%       |
| わからない             | 18.0%         | 22.0%            | 16.5%         | 19.7%          | 20.4%          | 13.9%          | 18.1%            | 0.0%         |
| 未回答               | 4.9%          | 0.0%             | 1.2%          | 0.9%           | 1.3%           | 5.7%           | 9.7%             | 0.0%         |
| 不明                | 0.1%          | 0.0%             | 0.0%          | 0.0%           | 0.0%           | 0.6%           | 0.0%             | 0.0%         |

### ■里山再生及び森林保全活動への興味

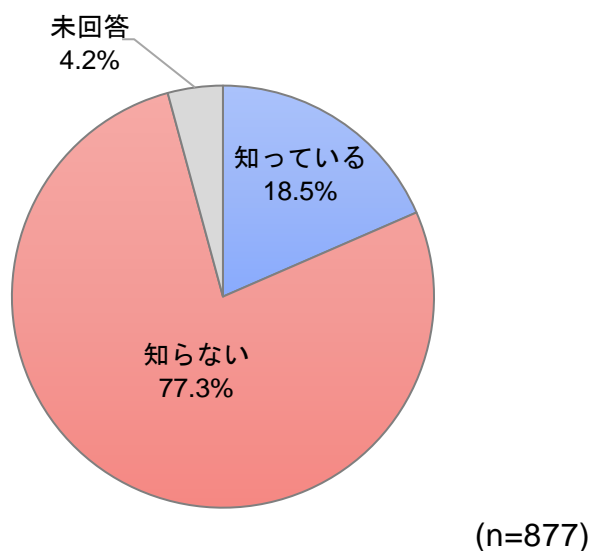


(n=877)

問2 本市では、平成27年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連し里山再生を行う取り組みを「さとぷろ。」と位置づけ、里山が抱える課題の解決について様々な取り組みを行っています。あなたは「さとぷろ。」を知っていますか。

|       | 全体<br>(n=877) | 18~29歳<br>(n=50) | 30代<br>(n=85) | 40代<br>(n=117) | 50代<br>(n=157) | 60代<br>(n=158) | 70代以上<br>(n=309) | 未回答<br>(n=1) |
|-------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 知っている | 18.5%         | 8.0%             | 21.2%         | 17.1%          | 18.5%          | 23.4%          | 17.2%            | 100.0%       |
| 知らない  | 77.3%         | 92.0%            | 77.6%         | 82.9%          | 80.3%          | 70.9%          | 74.8%            | 0.0%         |
| 未回答   | 4.2%          | 0.0%             | 1.2%          | 0.0%           | 1.3%           | 5.7%           | 8.1%             | 0.0%         |
| 不明    | 0.0%          | 0.0%             | 0.0%          | 0.0%           | 0.0%           | 0.0%           | 0.0%             | 0.0%         |

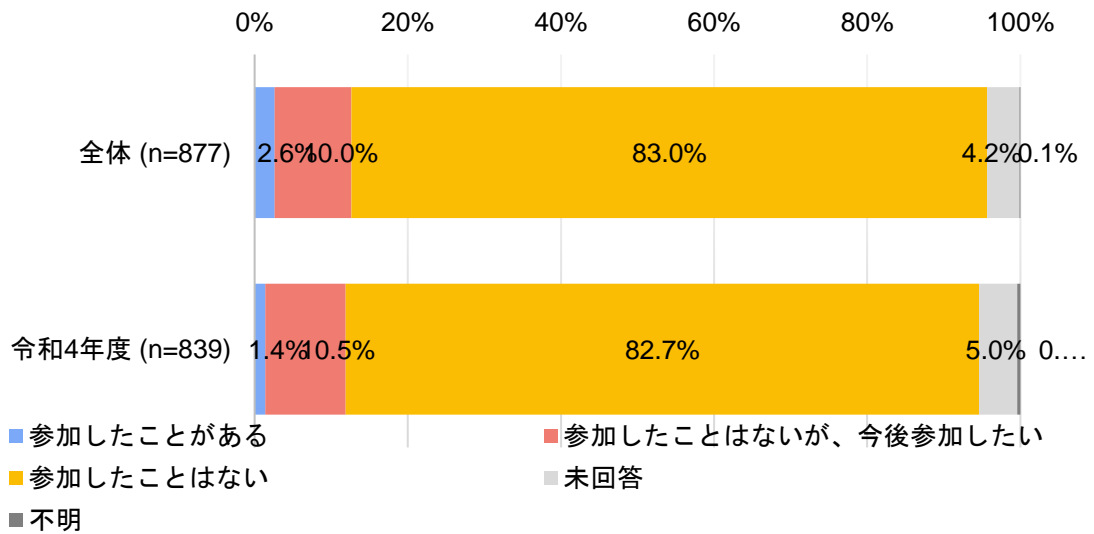
■ 「さとぷろ。」の認知度



問3 あなたは「さとぷろ。」の活動に参加したことはありますか。

|                    | 全体<br>(n=877) | 18~29歳<br>(n=50) | 30代<br>(n=85) | 40代<br>(n=117) | 50代<br>(n=157) | 60代<br>(n=158) | 70代以上<br>(n=309) | 未回答<br>(n=1) |
|--------------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 参加したことがある          | 2.6%          | 0.0%             | 4.7%          | 2.6%           | 2.5%           | 1.9%           | 2.9%             | 0.0%         |
| 参加したことはないが、今後参加したい | 10.0%         | 8.0%             | 14.1%         | 12.0%          | 9.6%           | 13.3%          | 7.1%             | 0.0%         |
| 参加したことはない          | 83.0%         | 92.0%            | 80.0%         | 85.5%          | 86.6%          | 79.7%          | 81.2%            | 100.0%       |
| 未回答                | 4.2%          | 0.0%             | 1.2%          | 0.0%           | 1.3%           | 4.4%           | 8.7%             | 0.0%         |
| 不明                 | 0.1%          | 0.0%             | 0.0%          | 0.0%           | 0.0%           | 0.6%           | 0.0%             | 0.0%         |

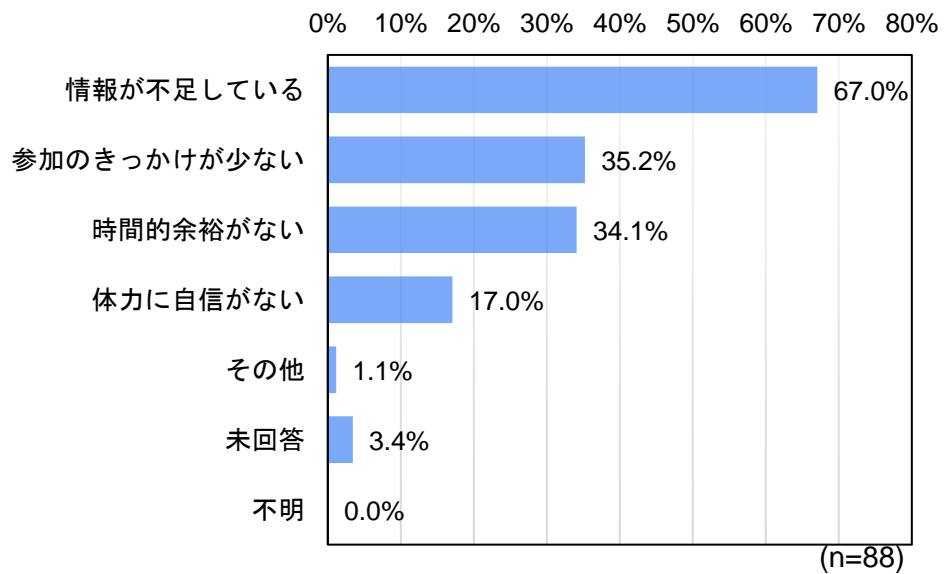
■ 「さとぷろ。」活動への参加状況



問4 「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方のみご回答ください。」  
参加していなかった理由はなんですか。

|             | 全体 (n=88) | 18~29歳 (n=4) | 30代 (n=12) | 40代 (n=14) | 50代 (n=15) | 60代 (n=21) | 70代以上 (n=22) | 未回答 (n=0) |
|-------------|-----------|--------------|------------|------------|------------|------------|--------------|-----------|
| 情報が不足している   | 67.0%     | 100.0%       | 66.7%      | 57.1%      | 53.3%      | 71.4%      | 72.7%        | 0.0%      |
| 参加のきっかけが少ない | 35.2%     | 0.0%         | 25.0%      | 35.7%      | 46.7%      | 33.3%      | 40.9%        | 0.0%      |
| 時間的余裕がない    | 34.1%     | 0.0%         | 50.0%      | 50.0%      | 60.0%      | 14.3%      | 22.7%        | 0.0%      |
| 体力に自信がない    | 17.0%     | 0.0%         | 16.7%      | 7.1%       | 6.7%       | 19.0%      | 31.8%        | 0.0%      |
| その他         | 1.1%      | 0.0%         | 8.3%       | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%         | 0.0%      |
| 未回答         | 3.4%      | 0.0%         | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%       | 4.8%       | 9.1%         | 0.0%      |
| 不明          | 0.0%      | 0.0%         | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%         | 0.0%      |

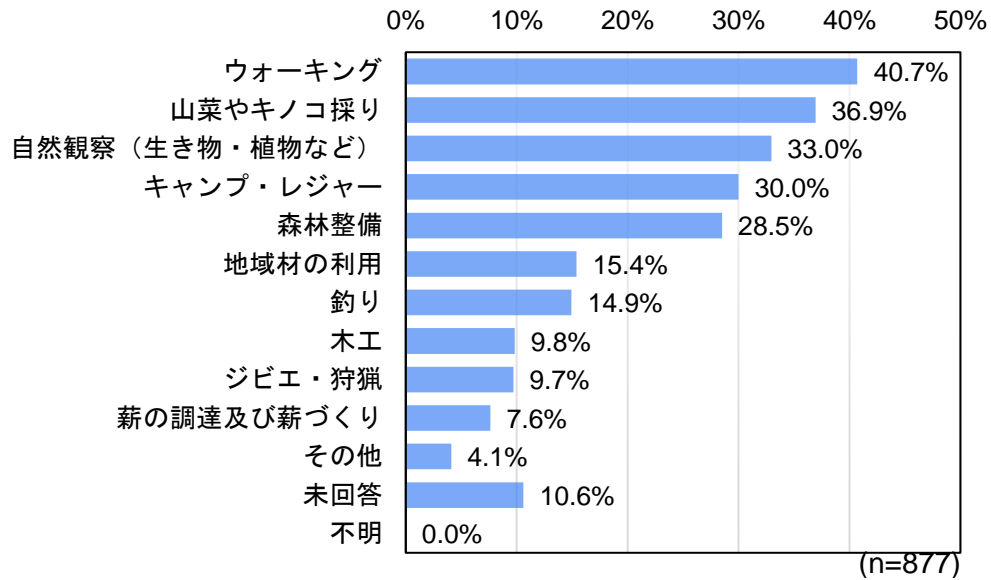
■ 参加していなかった理由



問5 あなたが、身近な山林での活動において興味があるものは何ですか。

(〇はいくつでも)

■興味がある身近な山林活動



## 2 安曇野市森林整備計画（抜粋）

安曇野市では、令和3年4月に安曇野市森林整備計画を策定しました（令和6年4月変更）。その中から、森林整備の方法に関する事項を抜粋し、以下に示します。

### 1 森林整備の現状と課題

#### (1) 地域の概況

本市は長野県のほぼ中央部に位置し、北は大町市、松川村、池田町、生坂村、東は筑北村、松本市、南は松本市、西は大町市、松本市に接しています。

西部は雄大な北アルプス連峰がそびえ立つ中部山岳国立公園の山岳地帯であり、燕岳、大天井岳、常念岳などの海拔3000m級の象徴的な山々があります。北アルプスを源とする中房川、烏川、梓川、高瀬川などが犀川に合流する東部は「安曇野」と呼ばれる海拔500～700mの概ね平坦な複合扇状地となっています。

#### (2) 森林・林業の現状

##### ① 地域の森林資源

本市の民有林の人工林面積は4,160haであり、人工林率40%と県平均の50%を下回っています。人工林の齢級配置をみると10齢級以上(46年生～)が3,595haで、約86%を占めており、高齢級森林に偏っていることが民有林の林齢別構成グラフでも分かります。間伐は、主に60年生以下の森林で行われるため、今後、間伐から主伐に施業を移行していくことが必要となってきています。

##### ② 森林の所有形態

森林の所有形態については、市有林等の公有林が約37%、個人有林など私有林が約63%です。公有林については市有林が最も多く、次いで財産区有林、県有林となっています。

また、私有林面積については、個人有林が最も多く、全体の約35%を占めます。個人有林は、零細で分散しているため、森林整備が遅れており、今後、の森林整備の課題となっています。

##### ③ 林業労働の現状

民有林の所有形態別割合から、全体の35%を個人有林が占めているが、木材価格の下落により、個人所有者である林家が林業経営を行うことは困難となっています。これにより、これまで地域の森林整備を担ってきた林家は減少し、林業従

事者の確保が困難となっている状況です。現在は、個人所有の林家に変わり、森林組合等林業事業体による林業従事者が中心となり森林施業が行われていますが、本市内の林業従事者は138人と少数です。このため、森林組合等林業事業体における雇用の安定化、労働条件の確保及び事業量の安定的確保、生産性の向上、従事者の養成など総合的に整備が必要となっています。

④ 林内路網の整備状況

下記の表及び安曇野市林道路網図のとおり

| 区 分 | 路 線 数 | 延 長      |         |
|-----|-------|----------|---------|
|     |       |          | うち舗装    |
| 林 道 | 51 路線 | 123,480m | 49,804m |

⑤ 保安林の配備、治山事業の実施状況

保安林は、目的に応じた森林の機能を確保するために指定されます。森林内での行為等が制限されますが、森林の機能の確保のための事業が行われています。本市では、民有林の約48.4%、5,120.55haの森林が保安林指定されています。最も多い保安林種は土砂流出防備保安林です。東山（明科地域、豊科地域）には土砂流出防備保安林が多く、また、長峰山や光城山の周辺は保健保安林に指定されています。西山（穂高地域、堀金地域、三郷地域）は、水源かん養保安林が多く、安曇野の水源である事がわかります。また、土砂流出防備保安林も多くみられます。

⑥ 地域の取組状況

本市では、市内の里山が抱える課題を明らかにし、次世代につながる里山の再生を目指すために、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とする「安曇野里山再生計画」を策定しました。第1次計画期間では、5つのプロジェクトを立ち上げ、それぞれの課題解決に向けて、人と里山をつなぐ様々な取り組み「さとぶろ。」が始まりました。

そして、第1次計画期間の5年間を終え、令和2年4月より新たに「第2次安曇野市里山再生計画」が始まりました。第2次計画では、プロジェクトが「里山まきの環プロジェクト」「里山学びの環プロジェクト」「里山木材活用プロジェクト」「里山の魅力発見プロジェクト」の4つに再編成されました。

引き続き、里山再生の取り組みを市民、事業者、行政が協力しながら、推進していきます。

### (3) 森林・林業の課題及び対策方針

#### (ア) 豊科地域

- ・濁沢南山、大口沢地区は、アカマツ主体の林分であるため、健全なアカマツ林を育てながら、特用林産物であるマツタケの増産を目指し整備していきます。
- ・田沢、光地区は、山地災害防止機能を有する森林ですが、手入れの遅れた森林が多いので景観に配慮しつつ公益的機能を増進させるべく施業を推進します。
- ・光城山西地区は、史跡及び桜の名所でもあり潤いのある自然環境を構成しており、地域住民が年間数回手入れを行っている個所でもあるので、択伐施業により景観に優れた森林へ誘導します。

#### (イ) 穂高地域

- ・里山においては、松くい虫によるアカマツ林の被害が拡大しているため、主伐及び更新伐による樹種転換を推進します。
- ・一ノ沢、浅川、北の沢地区においては、水土保持機能向上のため、森林施業を推進していきます。
- ・富士尾沢、天満沢、宮城地区においては景観の維持、造成を図り、森林とのふれあいの場を提供するため、広葉樹の育成を図るとともに環境保全を考慮した森林整備を推進することとします。また、松くい虫による被害が拡大している森林は主伐及び更新伐による樹種転換を推進します。
- ・北の沢上流域の森林は水源涵養機能が高く特に適切な管理が求められており、伐採後の植栽等適正な管理により、常に良好な森林環境を維持するよう努めます。
- ・山麓線（通称）沿いの別荘地化の進んだ里山林については、別荘所有者の理解を求め適切な手続きにより乱開発の防止や自然環境の維持に努めます。

#### (ウ) 三郷地域

- ・主伐・再造林を視野に入れた適切な森林施業を実施し、安曇野材の流通の拡大を図ります。
- ・北沢地区においては、景観の維持・造成を図るため、搬出間伐を推進し下層植生のナラ等の広葉樹を育成する等、環境保全を考慮した整備を推進します。

- ・黒沢川流域の森林は三郷地域の重要な水源林であり、急傾斜地の多い山越沢・滝の沢流域の森林については、特に適切な管理が求められているため、適期の除間伐等を計画的に実施し、下層植生の繁茂を促して、水源涵養機能の維持増進を図った森林整備を行います。

- ・黒沢川沿いの室山一帯は、地域住民の森林とのふれあい、森林教育の拠点として、また、黒沢川地域は果樹地帯の防災・暴風林としての機能を図るため、特に松くい虫を未然に防止するための監視・枯損木処理を徹底して行います。

#### (エ) 堀金地域

- ・田多井、寺山、内山地区においては、主伐・再造林を視野に入れた適切な森林施業を実施し、作業に不可欠な作業路網を整備するとともに、間伐材の搬出を積極的に支援していきます。

また、マツタケ発生の適地においては、発生環境整備を積極的に推進し、安定した生産量の確保を図ります。シイタケ等のきのこ原木になるコナラ等の植栽、利用も積極的に推進します。

- ・烏川野山地区、銚子口奥地区、小水沢地区においては、水源涵養機能の維持・向上を図るため、長伐期施業、択伐による複層林施業を積極的に推進し、下層植生の良好な発達が確保されるよう適正な立木密度で管理するとともに、伐採搬出にあたっては、土壌及び林床の保全に留意し、伐採跡地は速やかに更新を行います。

- ・岩原地区及び下堀扇町内山生産森林組合の所有林については、国営アルプスあづみ野公園、県営烏川溪谷緑地整備計画及び、林業構造改善事業等により整備したオートキャンプ場を拠点に、森林とのふれあい及び森林教育を推進します。

また、オートキャンプ場施設内で、地域特産林産物の販売、促進を行い、林業所得の確保を図るとともに、生産物をとおした地域住民と来訪者とのふれあいによる地域生活の活性化を図ります。

さらに、これら施設周辺林において、地域住民や森林ボランティアによる森林整備を推進し、森林の働きや林業への理解を促進し、支援の拡大を図ります。銚子口奥地区については、天然資源及び野生動植物の生態系保全機能が重要な地区であるので、この機能を維持するため森林の保全に努め、伐採にあたっては択伐及び小面積皆伐を原則とします。

(オ) 明科地域

- ・七貴、南陸郷地区においては、更新伐跡地の保育施業を行い、適切な樹種転換を図ります。
- ・潮沢地区においては、土砂の崩壊、流失、落石を引き起こすおそれのある地形であることから、伐採方法を特定する中で山地を保全していきます。また、ケヤキの人工美林という希少な森林の育成を図るとともに、環境保全を考慮した整備を推進することとします。
- ・光、長峰山地区の森林は特産であるニジマスの養殖池やワサビ田の湧水地上流に位置し、水源涵養機能を維持・増進するための整備を推進します。また、長峰山の一部では、生物多様性を考慮した「蝶の森」の整備を推進します。
- ・中川手、東川手地区においては、松くい虫によるアカマツ林の被害が拡大しているため、主伐及び更新伐による樹種転換を推進します。また、竹林の整備が遅れていることから、地域住民等の組織化による里山整備を積極的に推進します。また、集落住民の理解のもとに、森林ボランティアの活用についても取組を図る等、住民参加による森林整備を推進します。

2 森林整備の基本方針

(1) 地域の目指すべき森林資源の姿

地域の目指すべき森林資源の姿と、その目指す姿に誘導する森林整備の基本的な考え方及び施業の方法は、中部山岳地域森林計画の「【表 2-1】森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針」に即すこととします。

具体的には、目指すべき森林を地区ごとに定め、望ましい森林資源の姿に誘導もしくは維持します。

(2) 計画期間内で特に森林・林業に関し取り組むこと

- ・松くい虫被害対策について、「松くい虫被害対策地区実施計画」により対応していきます。
- ・里山再生計画を推進し、様々な活動を実践し、里山整備を推進していきます。

3 森林施業の合理化に関する基本方針

中信森林管理署、県、本市、森林所有者、森林組合等の林業関係者及び木材産業関係者の間で相互に合意形成を図りつつ、地域一体となって集約化を進めるとともに、集約化した森林は、確実に森林経営計画を立てることとし、持続的な森林経営

に、集約化した森林は、確実に森林経営計画を立てることとし、持続的な森林経営を推進します。

また、林業従事者及び後継者の育成・確保、作業路網の整備など林業関係者等が一体となって、長期目標に立った諸施策を計画的に実行します。



## 第3次安曇野市里山再生計画

|       |  |
|-------|--|
| 編集・発行 | 安曇野市 農林部 耕地林務課<br>〒399-8281 長野県安曇野市豊科 6000 番地<br>TEL 0263-71-2432 FAX 0263-71-2507 |
| 発行年月  | 令和7年3月   |

安曇野市  
里山再生計画

